

匠（インテリア類型／学校設定科目）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	2	学科・学年	建築インテリア科 3年
使用教科書	デザイン技術（海文堂）				
副教材等	配布プリント等				

「匠」はどんな科目？

デザインに関わる基礎から専門分野までの内容を幅広く学びます。

中でも、飛騨高山を中心とした伝統文化・工芸技術について基礎的な知識と技術を習得し、将来の「飛騨の匠」の後継者を目指します。

「匠」の学習の特徴は？

- ① 伝統技術を継承するため、外部講師を招き技術指導を受け、技能・技術を習得します。
- ② 地元の文化について、外部講師を招き講演していただき、より深い知識を系統的に学習します。
- ③ 実際に現場（企業、名所等）を訪れ、本物を見学し、体験的に学習します。
- ④ 「飛騨の匠」に関するテーマを設定し、調査・研究をします。

「匠」で大切なこと（留意点）は？

将来の「飛騨の匠」の担い手（伝統技術の後継者）となれるよう

- ① 自ら学ぶ意欲で望むことが大切です。
- ② 主体的に対応する能力と態度を育てよう。
- ③ あいさつ、マナー等基本的な態度を育てよう。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容（単元名）	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	1 ガイダンス ・ 授業の概要説明と自己課題の決定 ・ 発表会（新聞学習/毎時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「飛騨の匠」に関わる新記事等をトピックスとして発表することで、コミュニケーション能力を養います。 ・ 「飛騨の匠」に関するテーマを設定し、調査・研究をします。 ・ 実際に現場（名所等）を訪れ、本物を見学し、体験的に学習します。 ・ 実際に現場（企業等）を訪れ、本物を見学し、体験的に学習します。
	5	2 飛騨の匠 ・ 調査研究（調べ学習/通年）	
	6	・ 見学会（春の高山祭、屋台蔵） ・ 見学会（匠の碑）	
	7	3 飛騨の伝統技術と地場産業 ・ 飛騨の伝統技術（企業見学等） ・ 地場産業の実際（企業見学等） <期末考査>	
2 学 期	8	4 飛騨の匠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に現場（名所等）を訪れ、本物を見学し、体験的に学習します。 ・ 伝統技術を継承するため、外部講師を招き技術指導を受け、技能・技術を習得します。 ・ 地元の文化について、外部講師を招き講演していただき、より深い知識を系統的に学習します。
	9	・ 見学会（屋台会館、飛騨の里、他）	
	10	・ 見学会（秋の高山祭、屋台蔵）	
	11	・ 調査研究（調べ学習/通年）	
12	5 飛騨の伝統工芸 ・ 実技講習（伝統工芸/木彫） 6 飛騨の文化 ・ 講演会、現地調査（歴史と文化）		
3 学 期	1	7 自己課題のまとめ ・ 調査研究（自己課題のまとめ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「飛騨の匠」に関するテーマを設定し、調査・研究をまとめ、発表・展示します。
	2	8 作品発表会	
	3	・ 発表会（授業内発表、卒業作品展） <学年末考査>	

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、4つの観点から行います。

観点	評価基準	評価内容
関心・意欲・態度	「飛騨の匠」の伝統技術に対する関心と課題意識を高め、意欲的に活動するとともに、地元で生きる一員として、伝統技術継承の責任を果たそうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察（学習態度、出欠状況）
思考・判断・表現	「飛騨の匠」に関わる伝統技術や文化を中心とする知識を基に、伝統技術の継承の観点から多面的に考察するとともに、工業技術の変化を踏まえ適切に判断し、探求した内容を適切に表現できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ノート ・レポート（報告書） ・発表能力（プレゼンテーション、展示発表）
技能	「飛騨の匠」の理解に必要な基本的な技術を身に付けるとともに、調査研究を計画に従って進めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品評定 ・調査研究のまとめ
知識・理解	「飛騨の匠」について、伝統技術や文化の特徴を理解するとともに、「飛騨の匠」の理解に必要な基本的な知識を身に付け、工芸と工業とを関連付けて理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・学習ノート ・レポート（報告書） ・調査研究のまとめ

また、1年間の評定は年間を通じて総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

この「匠」の授業は、本校建築インテリア科（インテリア類型）の中でも一番の特色ある科目で、他県のインテリア関連学科では学ぶことができない科目です。

よって、高山工業高校建築インテリア科（インテリア類型）の生徒だから学習できるということ、一番感じることができる科目だと思えます。

「飛騨の匠」という言葉が、全国で多くの人々に知られているように、いろいろな意味でこの授業での学習を生かし、諸君の中から明日の「飛騨の匠」が育つことを期待します。